

まちなかダイバーシティ加古川～高齢者の健康交流・子どもの学習環境カイゼン～

解決したい課題①

高齢者の見守り強化

×

解決したい課題②

空き家・空き店舗

=

解決のアイデア

家守事業+交流事業+α

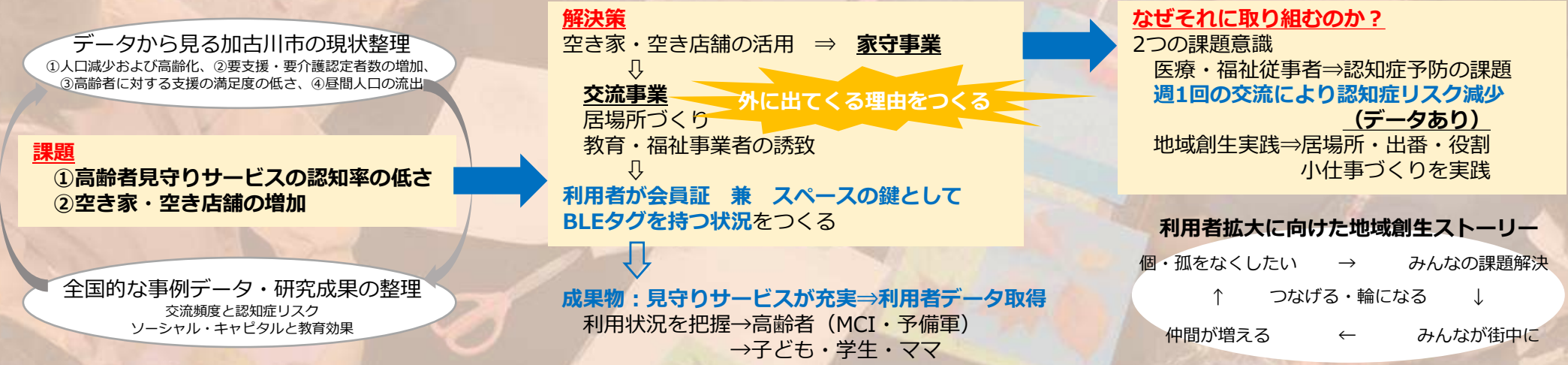
で解決

交流のためにBLEタグを持たせる

フリースペースの創出

交流事業の展開、学習室利用

○アイデアの背景～解決策の提案～取り組むべき理由

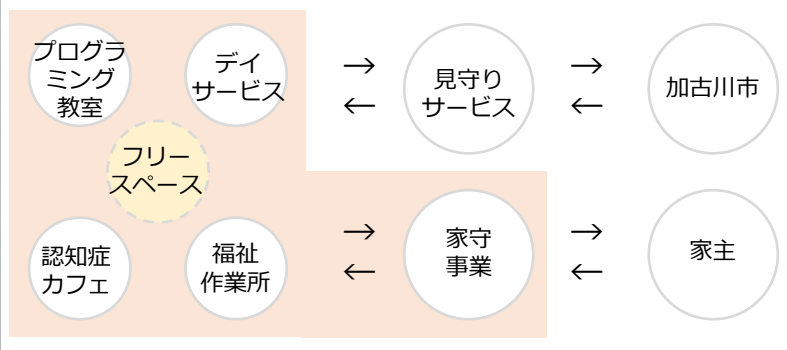


○アイデア実現までの流れ～アクションプラン

実現主体

組織化 ⇒ 社団法人（地元学生、市民等）
パートナー組織（**兵庫大学**、民間企業、農家等）の巻き込み

(仮) 一般社団法人



パートナー組織による街中での小仕事づくり

- ① **賃料支払い能力のある民間事業者と連携もしくは誘致**
【想定する事業者】教育・福祉事業者（**兵庫大学含む**）
⇒プログラミング教室、デイサービス、認知症カフェ、福祉作業所
- ② **賃料支払いを必要としないフリースペースを創出**
【想定する利用者】高齢者・子ども・学生・ママ
⇒管理人（見回りパトロール）、交流スペース、学習室、地域食堂、コワーキングスペース
- ③ 巻き込みたい人
コワーキングスペース⇒一部の管理業務を相互補助
リノベ好き⇒DIY、ボランティア

ポイント

- ・フリースペース家賃は緩い連携により維持する
- ・リノベーション費用はCFや補助金も活用
- ・管理のための人件費をほぼかけない
- ・見守りサービスマッチングによる運営経費捻出



家守事業の運営イメージ（全部で5か所を管理する場合）

- ・固定資産税+αの回収からスタート
- ・他の4か所へのサービス提供により、家賃を少し高く設定
- ・1か所をフリースペース（公共スペース）として活用

例) 70㎡：固定資産税が5万～10万/年
住宅 6万/月、商業 8万/月の賃料
事業者からの家賃が@8万～10万/月で20～30万が粗利
家主にはミニマムの賃料2万/月×5か所で経費を抑える